2027年度

東京都立大学大学院
人文科学研究科
博士後期課程

学生募集要項

東京都立大学大学院
人文科学研究科
博士後期課程

外国人特別学生（留学生）募集要項

本研究科に関する事務は以下において取り扱います。

東京都立大学管理部文系学務課人文社会学部教務係
〒192-0397 東京都八王子市南大沢一丁目１番地
（指定郵便番号）
TEL 042-677-1111（代表） 内線1121

東京都立大学大学院人文科学研究科
https://www.jinsha.tmu.ac.jp

ご 注 意

自然災害等の発生により募集内容、日程等の変更や中止を余儀なくされる場合があります。

変更内容につきましては、随時、人文科学研究科ウェブサイトでお知らせしますので、ご注意願います。

https://www.jinsha.tmu.ac.jp

目　　次

アドミッションポリシー　…… 1

Ⅰ　一般学生募集要項　…… 3

Ⅱ　外国人特別学生（留学生）募集要項　…… 13

Ⅲ　入学料及び授業料等について　…… 22

Ⅳ　長期履修制度について　…… 23

Ⅴ　個人情報の取扱いについて　…… 24

Ⅵ　人文科学研究科専攻別教員及び研究分野一覧　…… 25

人文科学研究科　アドミッションポリシー（抜粋）

人文科学研究科は、広い視野に立って人文・社会諸科学の知見をひろげ、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業などに必要な力を養うことを目的としています。みずから選択した人文・社会諸科学の専門分野における研究のために必要な能力を有し、その専門分野の諸問題に対して強い関心と旺盛な研究意欲をもっている人、自分の専門分野だけに閉じこもらず、人間や社会に対して広い視野を持とうと努力する人を求めます。そして将来、この課程での研究の成果や経験をいかして、研究者や高度専門職業人をめざす人を求めます。

社会行動学専攻

【博士後期課程】

1　理念

社会行動学専攻博士後期課程は、社会学・社会人類学・社会福祉学の各分野において、それぞれの分野の理論と方法論をもとに専門研究者として研究を遂行する能力を養うことを目的としています。

2　求める学生像

(1) 各分野で研究能力と実績を有するとともに、研究者をめざしてさらに研究を続け、レベルを向上させるための努力を惜しまない人

(2) 自分の専門分野だけに閉じこもらず、人間や社会に対して広い視野を持とうと努力する人

3　入学者に求める能力

(1) それぞれの専門分野における十分な基礎的な研究能力

(2) 広い人文・社会科学的視野と社会現象の解明についての強い意欲

人間科学専攻

【博士後期課程】

1　理念

人間科学専攻博士後期課程は、心理学・教育学・言語科学・日本語教育学の各分野における研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

2　求める学生像

(1) 各分野で研究能力と実績を有するとともに、研究者をめざしてさらに研究を続け、レベルを向上させるための努力を惜しまない人

(2) 自分の専門分野だけに閉じこもらず、人間や社会に対して広い視野を持とうと努力する人

3　入学者に求める能力

(1) それぞれの専門分野における十分な基礎的な研究能力

(2) 広い人文・社会科学的視野と社会現象の解明についての強い意欲

文化基礎論専攻

【博士後期課程】

1　理念

文化基礎論専攻博士後期課程は、哲学（哲学・西洋古典学)、歴史学・考古学、表象文化論の各分野における研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

2　求める学生像

(1) 各分野で研究能力と実績を有するとともに、研究者をめざしてさらに研究を続け、レベルを向上させるための努力を惜しまない人

(2) 自分の専門分野だけに閉じこもらず、人間や社会に対して広い視野を持とうと努力する人

3　入学者に求める能力

(1) それぞれの専門分野における十分な基礎的な研究能力

(2) 広い人文・社会科学的視野と社会現象の解明についての強い意欲

文化関係論専攻

【博士後期課程】

1　理念

文化関係論専攻博士後期課程は、日本および海外諸地域の言語、文学、文化一般に関する研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としている。

2　求める学生像

(1) 各分野で研究能力と実績を有するとともに、研究者をめざしてさらに研究を続け、レベルを向上させるための努力を惜しまない人

(2) 自分の専門分野だけに閉じこもらず、人間や社会に対して広い視野を持とうと努力する人

3　入学者に求める能力

(1) それぞれの専門分野における十分な基礎的な研究能力

(2) 広い人文・社会科学的視野と社会現象の解明についての強い意欲

Ⅰ　一般学生募集要項

1．募集人員

専　攻	分　　野	教室（募集単位）	人　数
社会行動学	社会学	社会学	約５名
	社会人類学	社会人類学	若干名
	社会福祉学	社会福祉学	約３名
人間科学	心理学	心理学	約４名
	教育学	教育学	若干名
	言語科学	言語科学	若干名
	日本語教育学	日本語教育学	若干名
文化基礎論	哲学	哲学　哲　　学	若干名
		哲学　西洋古典学	
	歴史学・考古学	歴史学・考古学	若干名
	表象文化論	表象文化論	若干名
文化関係論	日本・中国文化論	日本文学	若干名
		中国文学	若干名
	欧米文化論	英文学	若干名
		ドイツ文学	若干名
		フランス文学	若干名

〔注意〕
「教室」が募集単位です。本研究科の研究教育体制は、４つの「専攻」からなり、それぞれに「分野」（「教室」）が属しています。また、文化関係論専攻の場合は、２つの「分野」にそれぞれの「教室」が属しています。

人文科学研究科ウェブサイト　https://www.jinsha.tmu.ac.jp
人文社会学部教務係　０４２－６７７－１１１１（代）
内線１１２１

【外国人特別学生（留学生）】
上記の学生募集の外に、外国人特別学生（留学生）を若干名募集します。外国人特別学生（留学生）の志願者は、13 ～ 21 ページの「外国人特別学生（留学生）募集要項」をよく読んで出願してください。

入学までのフローチャート（博士後期課程・一般学生）

出願資格の確認

・修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者

・外国において修士の学位に相当する学位を授与された者又は授与される見込みの者

・文部科学大臣が指定した者

該当する

証明書等の準備

募集要項を確認して、必要な添付書類（修了（修了見込）証明書、成績証明書等）を早目に入手してください。

該当しない

事前認定対象

事前に人文社会学部教務係に電話で申し出た上で、必要書類を持参して、以下の期間に事務室に直接お越しください。

２０２６年１２月７日（月）～１２月１０日（木）
10：00～12：00、14：00～16：00

事前認定合格

入学考査料の振込み又は支払い

振込依頼書による銀行窓口での振込み、又は、Webによる支払いを行ってください。
本学大学院博士前期課程を２０２６年９月修了又は２０２７年３月修了見込みの者は入学考査料を免除します。

出願　２０２７年1月４日（月）～８日（金）必着（郵送のみ）。期限を過ぎたものは受理しません。

受験票　２０２７年２月５日（金）までに通知

試験日　２０２７年２月１６日（火）

合格発表　２０２７年２月２６日（金）10：00以降

入学手続案内　合格発表後、発送

入学手続　２０２７年３月９日（火）まで（入学手続サイト及び郵送必着）。期限を過ぎたものは受理しません。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する場合、出願することができます。
ただし、出願資格（7)、(8）により出願しようとする者は、「3. 出願資格の事前認定」を受ける必要があります。

(1）修士の学位を有する者又は 2027 年 3 月末日までに有する見込みの者
(2）専門職学位を有する者又は 2027 年 3 月末日までに授与される見込みの者
(3）外国において修士の学位又は専門職学位を授与された者又は 2027 年 3 月末日までに授与される見込みの者
(4）外国の大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2027 年 3 月末日までに授与される見込みの者
(5）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2027 年 3 月末日までに授与される見込みの者
(6）国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は 2027 年 3 月末日までに授与される見込みの者
(7）文部科学大臣が指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）（注）
(8）本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳（2027 年 4 月 1 日現在）に達する者

(注）出願資格（7）による者とは次の要件を満たす者をいう。
①大学を卒業し、大学・研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
②外国において学校教育（日本において、外国の大学が行う通信教育を履修する場合も含む）における 16 年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認めた者

3. 出願資格の事前認定

出願資格（7)、(8）により出願しようとする者は、事前に人文社会学部教務係へ連絡の上、次の期間内に来学し、手続きを行ってください（郵送受付不可)。

(1）必要書類
①卒業（修了）証明書の原本 1 部（大学学部以降のもの）
②成績証明書の原本 1 部（大学学部以降のもの）
※中華人民共和国の高等教育機関を卒業（修了）された場合、中国高等教育学生信息網（CHSI：China Higher Education Student Information）又は中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する①「学歴認証報告書」②「成績認証報告書」の英語版を提出すること。
※日本語又は英語以外で記載されている証明書等には、日本語訳（出願者本人作成可）を添付してください。
(2）事前認定受付期間
受付期間：2026 年 12 月 7 日（月）～ 12 月 10 日（木）
受付時間：10 時～ 12 時、14 時～ 16 時
(3）連絡先　人文社会学部教務係　電話　042-677-1111（代）内線 1121
〔注意〕
事前認定対象者で事前認定を受けないまま出願した場合、受験不適格の理由で受験を許可されないことがあります。なお、この場合、入学考査料は返還されないので注意してください。

4. 出願にかかる事前協議

受験上及び修学上配慮を希望する者は、事前に人文社会学部教務係へ連絡の上、次の期間内に原則来学し、手続きを行ってください。

受付期間：2026 年 12 月 7 日（月）～ 12 月 10 日（木）
受付時間：10 時～ 12 時、14 時～ 16 時

5. 出願期間及び出願方法等

(1) 出願期間及び出願方法

2027 年 1 月 4 日（月）～ 1 月 8 日（金）必着（郵送のみ）

様式 8 を貼った角形 2 号封筒に入れ、**書留速達郵便**としてください。
海外在住者で出願の意思のある者は、出願期間より前に人文社会学部教務係（jinbun-info@jmj.tmu. ac.jp）へ必ずメールにて連絡してください。ただし、出願資格の事前認定又は出願にかかる事前協議が必要な場合は受付期間より前に連絡のこと。

(2) 受験票の交付

出願書類を受理された者に対し、郵送で交付します。
受験票が 2 月 5 日（金）までに届かないときには、人文社会学部教務係へ問い合わせてください。
電話　042-677-1111（代）内線 1121

6. 出願書類等

次の(1)～(10)の書類を角形 2 号封筒に入れ、封筒の表面に出願書類提出用封筒貼付様式（様式 8）を貼り、**書留速達郵便**にて送付してください。直接、持参されても受け付けません。

(1) 入学志願票一式	※本研究科所定の様式（様式 2　入学志願票、写真票、机上票、受験票） ※写真は出願 3 か月以内に撮影したもので、脱帽、上半身、正面向き（縦 5cm ×横 4cm） ※試験当日の写真照合で本人確認を行えない可能性があるため、アプリ等で加工した写真は使用しないこと。
(2) 受験者個人調査票	※本研究科所定の様式（様式 3）
(3) 入学考査料（30,000 円）	「振込証明書（A 票）」又は「収納証明書」を本研究科所定の様式（様式 6）に貼付すること。 ※原本を提出すること。コピー不可 ※「7. 入学考査料（30,000 円）について」を参照のこと。
(4) 出身大学院の成績証明書	※ 1 通 ※原本を提出すること。コピー不可 ※日本語又は英語以外で記載されている場合は、日本語訳（出願者本人作成可）を添付すること。 【中華人民共和国の大学院を修了された場合】 中国高等教育学生信息網（CHSI : China Higher Education Student Information）又は中国学歴･学籍認証センター日本代理機構が発行する「成績認証報告書」の英語版を提出すること。
(5) 出身大学院の修了（修了見込）証明書	※ 1 通 ※原本を提出すること。コピー不可 ※日本語又は英語以外で記載されている場合は、日本語訳（出願者本人作成可）を添付すること。 ※大学改革支援・学位授与機構が交付する学位授与証明書又は学位授与申請（予定）証明書をもって代えることができる。 【中華人民共和国の大学院を修了された場合】 中国高等教育学生信息網（CHSI : China Higher Education Student Information）又は中国学歴･学籍認証センター日本代理機構が発行する「学歴認証報告書」の英語版を提出すること。

(6) 住民票	※1通（外国籍の者のみ提出） ※出願3か月以内に市区役所・町村役場発行のもの。コピー不可 ※在留資格及び在留期間が明記されているもの
(7) 在留カードのコピー	※1通（外国籍の者のみ提出） ※カードの両面（表と裏）をA4サイズの用紙にコピーして提出すること。
(8) 教室（募集単位）別提出書類	※8ページを参照のこと。
(9) 研究計画書	※本研究科所定の表紙（様式1）を付けること。 ※様式1に記載している注意事項に従うこと。 ※社会学教室受験者は提出不要。
(10) 受験票送付用封筒	※長形3号封筒に（様式7）を貼り付け、宛名を明記し、410円分（定形郵便料金110円＋速達料金300円）の切手を貼ること。

【注意事項】
①黒ボールペンで記入のこと。(摩擦等の熱でインクが消えるボールペンは使用不可)
②出願書類等に不備がある場合は受け付けません。
③一度提出した書類は、どのような事情があっても返却しません。
④証明書に虚偽があった場合、受験中又は出願手続きに不正があった場合は、入学の許可を取り消します。

【教室（募集単位）別提出書類一覧】（左上を必ずとじること。）

専　攻	教室（募集単位）		提　出　書　類
社会行動学	社会学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し（日本語、英語以外で書かれているものは、問い合わせる。） ・論文概要（2,000 字～ 4,000 字）
	社会人類学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し：6 部提出(言語は問わない) ・論文概要：6 部提出（日本語又は英語に限る。日本語は 2,000 字～ 4,000 字、英語は 1,000 ～ 2,000 ワードとする）
	社会福祉学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し及び論文概要 どちらの概要も 2,000 字～ 4,000 字程度（日本語、英語以外で書かれているものは、問い合わせる。）
人間科学	心理学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し：3 部提出 ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
	教育学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し（専攻に関するものに限る。） ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
	言語科学		・修士論文の写し又は研究論文の写し。なお、本学大学院人文科学研究科人間科学専攻言語科学教室において、博士前期課程を修了した者（見込みを含む。）は、修士論文の提出は不要 ・論文概要：1,000 字～ 2,000 字（日本語、英語以外で書かれているものは、問い合わせる。）
	日本語教育学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し：3 部提出 ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
文化基礎論	哲学※	哲　学	・修士論文の写し又は研究論文の写し：3 部提出（日本語、英語、ドイツ語、フランス語に限る。）ただし、西洋古典学は 2 部提出 ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
		西洋古典学	
	歴史学・考古学		・修士論文（改訂されたものでもよい）の写し：3 部提出（出願資格（6）（7）の者は、修士論文に代わる研究論文の写しでも可）。なお、本学大学院人文科学研究科文化基礎論専攻歴史学・考古学教室において、博士前期課程を修了見込みの者は、修士論文の提出は不要 ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
	表象文化論		・広義の表象文化論にかかわる修士論文の写し又はそれに代わる研究論文の写し：3 部提出（ただし、外国語表記の場合は、40,000 字程度の日本語による要旨を添えること）。なお、本学大学院人文科学研究科文化基礎論専攻表象文化論教室において、博士前期課程を修了見込みの者は、修士論文の提出は不要 ・論文概要：2,000 字程度（日本語に限る。）
文化関係論	日本文学		⑴修士論文の写し又は研究論文の写し （外国語表記の場合は、20,000 字程度の日本語による要旨及び研究業績一覧表を提出。なお、本学大学院人文科学研究科文化関係論専攻日本文学教室において、博士前期課程を修了した者（見込みを含む。）は修士論文の提出は不要） ⑵⑴の論文の論文概要(2,000 字～ 4,000 字程度。日本語に限る。)
	中国文学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し （ただし、外国語表記の場合は、12,000 字程度の日本語による要旨及び研究業績一覧表を提出） ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
	英文学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し ・論文概要：1,000 語程度（英語に限る。）
	ドイツ文学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し ・論文概要：1,000 語程度（ドイツ語に限る。）
	フランス文学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し ・論文概要：1,000 語程度（フランス語に限る。）

※印の教室（募集単位）について

本学大学院人文科学研究科博士前期課程を 2026 年 9 月に修了した者又は 2027 年 3 月修了見込みの者は、修士論文の写しの提出は不要です。概要のみ提出してください。

7. 入学考査料（30,000 円）について

(1) 振込依頼書による振込みの場合

振込依頼書での振込みを希望する方は以下いずれかの方法で振込依頼書を入手してください。
①窓口での配布
配布場所：東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口
配布時間：平日 9：00 ～ 12：00、13：30 ～ 17：00 （土、日、祝日を除く。）
②郵送での配布
請求方法：作成した返信用封筒（御自身の宛先を記入した長 3 の封筒に切手 110 円分を貼ったもの）を封入し、郵送で請求してください。なお、不明点がある場合に連絡することがあるので、電話番号等の連絡先を 記載したメモを同封願います。
また、封筒に朱書きで「2027 年度人文科学研究科大学院入試振込依頼書請求」と明記してください。
《請求先》
〒 192-0397　東京都八王子市南大沢 1-1
東京都立大学管理部文系学務課人文社会学部教務係

①振込依頼書により金融機関（ゆうちょ銀行は除く。）の窓口にて「電信扱」にて振り込んでください。
※郵便局での振込みはできません。
※ ATM（現金自動預入払出機）での振込みはできません。
※振込手数料は各自で負担してください。なお、みずほ銀行の本支店から振り込むと手数料がかかりません。
②振り込み後、銀行収納印が押された振込証明書（A 票）の原本を本研究科所定の様式（様式 6）に貼り、提出してください。

(2) Web による支払い（E－支払いサイト）の場合
・納付方法の詳細は、「人文科学研究科入学考査料払込方法」を参照してください。
・E－支払いサイト（https://e-shiharai.net/）へ事前申込の上、コンビニエンスストア、ペイジー対応の ATM、ネットバンキング、クレジットカード又は銀聯ネット決済により納付してください。（日本国外から支払いの場合は、クレジットカード又は銀聯ネット決済のみ。）
・振込手数料は各自で負担してください。
・支払い後、「入学検定料・選考料　取扱明細書」の「収納証明書」の部分を切り取り、「収納証明書」を本研究科所定の様式（様式 6）に貼り、提出してください。

支　払　期　間
2026 年 12 月 15 日（火）～ 2027 年 1 月 8 日（金）

(3) 入学考査料の免除について
①自然災害被災者の方へ
自然災害被災者に対して入学考査料を免除する場合がありますので、入学考査料の支払い前に、人文社会学部教務係に問い合わせてください。
②本学大学院博士前期課程修了（修了見込みを含む。）の方へ
本学大学院博士前期課程を 2026 年 9 月に修了した者又は 2027 年 3 月修了見込みの者は、入学考査料を免除します。

(4) 出願受理後の入学考査料は理由を問わず返還しません。
（注）入学考査料を振込んだが出願しなかった場合又は入学考査料を誤って二重に振込んだ場合は、入学考査料の返還申請ができるので、東京都立大学の HP（https://www.tmu.ac.jp/campuslife_career/expenses.html）から返還請求書兼支払金口座振替依頼書をダウンロードし、記入した上で、入学考査料を振り込んだ時の「振込証明書（A 票）」又は「収納証明書」（いずれも原本〔コピー不可〕）を所定箇所に貼付して、次の宛先に郵送してください。
〒 192-0397　東京都八王子市南大沢 1 － 1
東京都公立大学法人　総務部会計管理課資金管理係　入学考査料返還担当
TEL　042-677-1111（代）

8. 選考方法

(1) 選考は、提出された書類の審査及び本研究科が行う学力試験によって行います。
(2) 学力試験は、筆記試験（言語科目、専門分野基礎、論文）及び面接による口述試験によって行います。
(3) 試験の成績によっては、募集人員に満たないときでも入学を許可しないことがあります。

9. 学力試験の期日・場所・試験科目及び日程

(1) 期　日　　2027 年 2 月 16 日（火）
(2) 場　所　　東京都立大学　南大沢キャンパス
(3) 試験科目及び日程　別表 1（11・12 ページ）参照

［注意］
①試験当日は必ず受験票を携帯してください。
②指定された試験科目を 1 科目でも受験しなかった場合、それ以降の科目の受験は認めません。
③試験予備日
　試験日の翌日を試験予備日とします。不測の事態により、試験日に予定されていた試験の一部又は全部が実施できない場合、試験予備日に実施することがあります。詳細は人文科学研究科ウェブサイト（https://www.jinsha.tmu.ac.jp）にて周知します。

10. 合格発表

日　　時：2027 年 2 月 26 日（金） 10 時以降
発表方法：人文科学研究科ウェブサイト（https://www.jinsha.tmu.ac.jp）に掲載します。
　電話等による合否の問い合わせには応じません。
※「合格者一覧（受験番号のみ記載）」の送付【希望者のみ】
　合格発表の結果の郵送を希望される方は、長形 3 号（120 × 235mm）の封筒に、住所・氏名を明記し、切手 620 円分（定形郵便料金 110 円 + 速達料金 300 円 + 特定記録料金 210 円）を貼付し、出願書類に同封してください。
　発送日：2027 年 2 月 26 日（金）

11. 合格通知書等の交付

合格者には、「合格通知書」及び「入学手続案内」を郵送します。
発送日：2027 年 2 月 26 日（金）

12. 入学手続

2027 年 3 月 9 日（火）（入学手続サイトでの手続及び郵送必着）
合格者は「入学手続案内」をよく読み、入学手続を行ってください。これらの手続を怠ると入学は許可されません。

［別表１］試験科目と試験時間（一般学生）

<table>
<tr><td>教室＼試験日</td><td colspan="4">2月16日（火）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">社会学</td><td colspan="2">9：30～12：30</td><td>13：30～15：30</td><td>16：30～</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語科目　以下の言語から１か国語選択
【英語、ドイツ語、フランス語、日本語】英語以外を選択する場合は理由書（A4判1枚）を提出のこと。日本語は辞書持込不可。英語、ドイツ語、フランス語は辞書持込可（電子辞書不可）。</td><td>論文</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">社会人類学</td><td colspan="2">9：30～12：30</td><td colspan="2">13：30～</td></tr>
<tr><td>言語科目Ⅰ
英語Ⅰ
（辞書持込可、
電子辞書不可）</td><td>言語科目Ⅱ　以下の言語から1か国語選択【英語Ⅱ、中国語、日本語】（辞書持込可、電子辞書不可。英語Ⅰと英語Ⅱはまとめて1言語科目とみなすため、英語Ⅱを選択する者がこの試験時間帯に持ち込める辞書は1冊のみとする）</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">社会福祉学</td><td colspan="2">9：30～12：30</td><td colspan="2">13：30～</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語科目
英語（辞書持込可、電子辞書不可）</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">心理学</td><td>9：30～11：00</td><td>11：15～12：45</td><td colspan="2">14：30～</td></tr>
<tr><td>言語科目
英語</td><td>論文</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教育学</td><td colspan="2">9：30～12：30</td><td colspan="2">13：30～</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語科目　以下の言語から１か国語選択
【英語、朝鮮語】</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">言語科学</td><td colspan="2">9：30～12：30</td><td colspan="2">13：30～</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語科目
英語</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日本語教育学</td><td>9：30～11：00</td><td></td><td colspan="2">13：30～</td></tr>
<tr><td>言語科目　以下の言語から1か国語選択【英語、中国語、朝鮮語、フランス語、スペイン語、ロシア語、ポルトガル語】（辞書持込可、電子辞書不可）</td><td></td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="3">哲学</td><td rowspan="2">哲学</td><td colspan="2">9：30～12：30</td><td colspan="2">14：00～</td></tr>
<tr><td>言語科目Ⅰ　以下の言語から各自の研究テーマに最も関係のある１か国語を選択
【英語、ドイツ語、フランス語、ギリシア語、ラテン語】</td><td>言語科目Ⅱ　以下の言語から言語科目Ⅰで選択したもの以外の１か国語選択
【英語、ドイツ語、フランス語】</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td>西洋古典学</td><td colspan="2">9：30～12：30</td><td>13：30～16：00</td><td>17：00～</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">２言語科目　以下の言語から２か国語選択
【英語、ドイツ語、フランス語】</td><td>ギリシア語
及び
ラテン語</td><td>口述試験</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教室＼試験日</td><td colspan="4">2月16日（火）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">歴史学・考古学</td><td colspan="3">9：30～12：30</td><td>14：00～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">言語科目Ⅰ
英語Ⅰ</td><td colspan="2">言語科目Ⅱ　志願する分野の中から1か国語選択
（英語Ⅱは、英語Ⅰより高度な内容）</td><td rowspan="5">口述試験
（研究に求められる史料読解能力を試す場合がある。）</td></tr>
<tr><td>日本史</td><td>【英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、漢文（中国古典）、漢文（日本古典）】</td></tr>
<tr><td>東洋史</td><td>【英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、漢文（中国古典）】</td></tr>
<tr><td>西洋史</td><td>【英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語、ロシア語】</td></tr>
<tr><td>考古学</td><td>【英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、漢文（中国古典）、漢文（日本古典）】</td></tr>
<tr><td rowspan="2">表象文化論</td><td colspan="2" rowspan="2"></td><td>11：15～12：45</td><td>13：45～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>言語科目　以下の言語から1か国語選択
【英語、フランス語、日本語】</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日本文学</td><td colspan="2" rowspan="2"></td><td>11：15～12：45</td><td>13：45～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>言語科目
英語及び中国古典</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">中国文学</td><td colspan="2">9：30～11：00</td><td>11：15～12：45</td><td>13：45～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">言語科目Ⅰ
英語（辞書貸与。試験開始前に試験教室にて貸与）</td><td>言語科目Ⅱ
中国語（古典を含む。）</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">英文学</td><td colspan="3">9：30～12：30</td><td>14：00～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>言語科目Ⅰ
英語Ⅰ</td><td colspan="2">言語科目Ⅱ　以下の言語から1か国語選択
【英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語】</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドイツ文学</td><td colspan="3">9：30～12：30</td><td>13：30～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">言語科目
ドイツ語</td><td>専門知識</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フランス文学</td><td colspan="2">9：30～11：00</td><td>11：15～12：45</td><td>14：30～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">フランス語及び言語科目
以下の言語から1か国語選択
【英語、ラテン語、ギリシア語】</td><td>専門知識</td><td>口述試験</td></tr>
</table>

【注意事項】
1　言語科目に関して、【　　】内は選択解答できる言語科目をあらわします。
2　言語科目では、母語（初等・中等教育で使用した言語）を選択することはできません。
3　特に記載のない場合は、辞書持込不可
4　辞書持込可の教室は、1言語科目につき1冊の辞書のみ持込可（電子辞書は不可）

Ⅱ　外国人特別学生（留学生）募集要項

1．募集人員

専　攻	分　　野	教室（募集単位）		人　数
人間科学	心理学	心理学		若干名
	教育学	教育学		若干名
	言語科学	言語科学		若干名
	日本語教育学	日本語教育学		若干名
文化基礎論	哲　学	哲　学	哲　　学	若干名
			西洋古典学	
	歴史学・考古学	歴史学・考古学		若干名
文化関係論	日本・中国文化論	日本文学		若干名
		中国文学		若干名
	欧米文化論	英文学		若干名
		ドイツ文学		若干名
		フランス文学		若干名

〔注意〕
「教室」が募集単位です。本研究科の研究教育体制は、4つの「専攻」からなり、それぞれに「分野」（「教室」）が属しています。また、文化関係論専攻の場合は、2つの「分野」にそれぞれの「教室」が属しています。

入学までのフローチャート（博士後期課程・外国人特別学生）

出願資格の確認

・外国人又は日本語を母語としない者であって、外国において修士の学位に相当する学位を授与された者又は授与される見込みの者

・外国人又は日本語を母語としない者であって、日本の大学院（博士前期課程又は修士課程）を修了又は修了見込みの者

・本学大学院博士前期課程に外国人特別学生（留学生）として入学し、修了した者又は修了見込みの者

↓該当する

証明書等の準備

募集要項を確認して、必要な添付書類（修了（修了見込）証明書、成績証明書等）を早目に入手してください。

↓該当しない

事前認定対象

事前に人文社会学部教務係に電話で申し出た上で、必要書類を持参して、以下の期間に事務室に直接お越しください。

２０２６年１２月７日（月）～１２月１０日（木）

10：00～12：00、14：00～16：00

事前認定合格

入学考査料の振込み又は支払い

振込依頼書による銀行窓口での振込み、又は、Webによる支払いを行ってください。

本学大学院博士前期課程を２０２６年９月修了又は２０２７年３月修了見込みの者は入学考査料を免除します。

↓

出願　２０２７年1月４日（月）～８日（金）必着（郵送のみ）。期限を過ぎたものは受理しません。

↓

受験票　２０２７年２月５日（金）までに通知

↓

試験日　２０２７年２月１６日（火）

↓

合格発表　２０２７年２月２６日（金）10：00以降

↓

入学手続案内　合格発表後、発送

↓

入学手続　2027年3月9日（火）まで（入学手続サイト及び郵送必着）。期限を過ぎたものは受理しません。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する場合、出願することができます。
ただし、出願資格（4）、（5）により出願しようとする者は、出願資格の事前認定を受ける必要があります。
（1）外国人又は日本語を母語としない者であって、外国において修士の学位に相当する学位を授与された者又は2027年3月までに授与される見込みの者
（2）本学大学院博士前期課程に外国人特別学生（留学生）として入学し修了した者又は修了見込みの者は、外国人特別学生（留学生）として受験できます。
（3）外国人留学生であって、日本の大学院を修了し修士の学位を得た者又は2027年3月取得見込みの者も、外国人特別学生（留学生）として受験できます。
（4）外国人留学生であって、外国の大学院の日本校を卒業した者など、本研究科において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
（5）本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を得た者と同等以上の学力がある者と認めた者で、24歳（2027年4月1日現在）に達する者

3. 出願資格の事前認定

出願資格（4）、（5）により出願しようとする者は、事前に人文社会学部教務係に連絡の上、次の期間内に来学し、手続きを行ってください（郵便受付不可）。
（1）必要書類
①卒業（修了）証明書の原本1部（大学学部以降のもの）
②成績証明書の原本1部（大学学部以降のもの）
※中華人民共和国の高等教育機関を卒業（修了）された場合、中国高等教育学生信息網（CHSI：China Higher Education Student Information）又は中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する①「学歴認証報告書」②「成績認証報告書」の英語版を提出すること。
※日本語又は英語以外で記載されている証明書等には、日本語訳（出願者本人作成可）を添付してください。
（2）事前認定受付期間
受付期間：2026年12月7日（月）～12月10日（木）
受付時間：10時～12時、14時～16時
（3）連絡先　人文社会学部教務係　電話042-677-1111（代）内線1121
〔注意〕
事前認定対象者で事前認定を受けないまま出願した場合、受験不適格の理由で受験を許可されないことがあります。なお、この場合、入学考査料は返還されないので注意してください。

4. 出願にかかる事前協議

事前協議の対象は次の（1）又は（2）に該当する場合です。
事前協議を必要とする者は、事前に人文社会学部教務係へ連絡の上、次の期間内に原則来学し、手続きを行ってください。
（1）日本国籍を取得している場合
（2）受験上及び修学上配慮を希望する者

受付期間：2026年12月7日（月）～12月10日（木）
受付時間：10時～12時、14時～16時

5. 出願期間及び出願方法等

（1）出願期間
2027年1月4日（月）～1月8日（金）必着（郵送のみ）
様式8を貼った角形2号封筒に入れ、**書留速達郵便**としてください。
海外在住者で出願の意思のある者は、出願期間より前に人文社会学部教務係（jinbun-info@jmj.tmu. ac.jp）へ必ずメールにて連絡してください。ただし、出願資格の事前認定又は出願にかかる事前協議が必要な場合は受付期間より前に連絡のこと。
（2）受験票の交付
出願書類を受理された者に対し、郵送で交付します。
受験票が2月5日（金）までに届かないときには、人文社会学部教務係へ問い合わせてください。
電話　042-677-1111（代）内線1121

6. 出願書類等

次の(1)～(12)の書類を、角形２号封筒に入れ、封筒の表面に出願書類提出用封筒貼付様式（様式８）を貼り、**書留速達郵便**にて送付してください。直接、持参されても受け付けません。

(1) 入学志願票一式	※本研究科所定の様式（様式４　入学志願票、写真票、机上票、受験票） ※写真は出願３か月以内に撮影したもので、脱帽、上半身、正面向き（縦 5cm ×横 4cm） ※試験当日の写真照合で本人確認を行えない可能性があるため、アプリ等で加工した写真は使用しないこと。
(2) 受験者個人調査票	※本研究科所定の様式（様式５）
(3) 入学考査料（30,000 円）	「振込証明書（A 票）」又は「収納証明書」を本研究科所定の様式（様式６）に貼付すること。 ※原本を提出すること。コピー不可 ※「7. 入学考査料（30,000 円）について」を参照のこと。
(4) 出身大学院の成績証明書	※１通 ※原本を提出すること。コピー不可 ※日本語又は英語以外で記載されている場合は、日本語訳（出願者本人作成可）を添付すること。 【中華人民共和国の大学院を修了された場合】 中国高等教育学生信息網（CHSI : China Higher Education Student Information）又は中国学歴･学籍認証センター日本代理機構が発行する「成績認証報告書」の英語版を提出すること。
(5) 出身大学院の修了（修了見込）証明書	※１通 ※原本を提出すること。コピー不可 ※日本語又は英語以外で記載されている場合は、日本語訳（出願者本人作成可）を添付すること。 ※大学改革支援・学位授与機構が交付する学位授与証明書又は学位授与申請（予定）証明書をもって代えることができる。 【中華人民共和国の大学院を修了された場合】 中国高等教育学生信息網（CHSI : China Higher Education Student Information）又は中国学歴･学籍認証センター日本代理機構が発行する「学歴認証報告書」の英語版を提出すること。
(6) 住民票	※１通（外国籍の者のみ提出） ※出願３か月以内に市区役所・町村役場発行のもの。コピー不可 ※在留資格及び在留期間が明記されているもの
(7) 在留カードのコピー	※１通（外国籍の者のみ提出） ※カードの両面（表と裏）を A4 サイズの用紙にコピーして提出すること。
(8) 教室（募集単位）別提出書類	※ 17 ページを参照のこと。
(9) 研究計画書	※本研究科所定の表紙（様式１）を付けること。 ※様式１に記載している注意事項に従うこと。
(10) 留学ビザ取得サポート申込書	※新規に留学ビザを取得する者（希望者のみ） ※以下の URL から申込書をダウンロードし、必要事項を記入した上で、他の出願書類と一緒に提出すること。 https://www.ic.tmu.ac.jp/study_abroad/visa.html
(11) 国費奨学金の受給証明書	※国費外国人留学生のみ ※現在､他大学に在籍する国費外国人留学生（大使館推薦又は国内採用）で、本学への進学を希望する場合は、国費奨学金の受給証明書を提出すること。なお、本学への進学も含め、上位課程への進学の際に必要な「奨学金支給期間の延長申請」については、現所属の大学に確認願います。
(12) 受験票送付用封筒	※長形３号封筒に、（様式７）を貼り付け、宛名を明記し、410 円分（定形郵便料金 110 円＋速達料金 300 円）の切手を貼ること。

【注意事項】
①黒ボールペンで記入のこと。（摩擦等の熱でインクが消えるボールペンは使用不可）
②出願書類等に不備がある場合は受け付けません。
③一度提出した書類は、どのような事情があっても返却しません。
④証明書に虚偽があった場合､受験中又は出願手続きに不正があった場合は､入学の許可を取り消します。

【教室（募集単位）別提出書類一覧】（左上を必ずとじること。）

専　攻	教室（募集単位）		各教室が求める提出書類
人間科学	心理学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し：3 部提出 ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
	教育学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し（専攻に関するものに限る。） ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
	言語科学		・修士論文の写し又は研究論文の写し。なお、本学大学院人文科学研究科人間科学専攻言語科学教室において、博士前期課程を修了した者（見込みを含む。）は、修士論文の提出は不要 ・論文概要：1,000 字～ 2,000 字（日本語、英語以外で書かれているものは、問い合わせる。）
	日本語教育学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し：3 部提出 ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
文化基礎論	哲学※	哲　学	・修士論文の写し又は研究論文の写し：3 部提出（日本語、英語、ドイツ語、フランス語に限る。）ただし、西洋古典学は 2 部提出 ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
		西洋古典学	
	歴史学・考古学		・修士論文（改訂されたものでもよい）の写し：3 部提出（出願資格（4）、（5）の者は、修士論文に代わる研究論文の写しでも可）。なお、本学大学院人文科学研究科文化基礎論専攻歴史学・考古学教室において、博士前期課程を修了見込みの者は、修士論文の提出は不要 ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
文化関係論	日本文学		⑴修士論文の写し又は研究論文の写し （外国語表記の場合は、20,000 字程度の日本語による要旨及び研究業績一覧表を提出。なお、本学大学院人文科学研究科文化関係論専攻日本文学教室において、博士前期課程を修了した者（見込みを含む。）は修士論文の提出は不要） ⑵⑴の論文の論文概要（2,000 字～ 4,000 字程度。日本語に限る。）
	中国文学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し （ただし、外国語表記の場合は、12,000 字程度の日本語による要旨及び研究業績一覧表を提出） ・論文概要：2,000 字～ 4,000 字程度（日本語に限る。）
	英文学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し ・論文概要：1,000 語程度（英語に限る。）
	ドイツ文学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し ・論文概要：1,000 語程度（ドイツ語に限る。）
	フランス文学※		・修士論文の写し又は研究論文の写し ・論文概要：1,000 語程度（フランス語に限る。）

※印の教室（募集単位）について
本学大学院人文科学研究科博士前期課程を 2026 年 9 月に修了した者又は 2027 年 3 月修了見込みの者は、修士論文の写しの提出は不要です。概要のみ提出してください。

7. 入学考査料（30,000 円）について

(1) 振込依頼書による振込みの場合

振込依頼書での振込みを希望する方は以下いずれかの方法で振込依頼書を入手してください。
①窓口での配布
　配布場所：東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口
　配布時間：平日 9：00 ～ 12：00、13：30 ～ 17：00 （土、日、祝日を除く。）
②郵送での配布
　請求方法：作成した返信用封筒（御自身の宛先を記入した長３の封筒に切手 110 円分を貼ったもの）を封入し、郵送で請求してください。なお、不明点がある場合に連絡することがあるので、電話番号等の連絡先を 記載したメモを同封願います。
　また、封筒に朱書きで「2027 年度人文科学研究科大学院入試振込依頼書請求」と明記してください。
《請求先》
　〒 192-0397　東京都八王子市南大沢 1-1
　東京都立大学管理部文系学務課人文社会学部教務係

①振込依頼書により金融機関（ゆうちょ銀行は除く。）の窓口にて「電信扱」にて振り込んでください。
※郵便局での振込みはできません。
※ ATM（現金自動預入払出機）での振込みはできません。
※振込手数料は各自で負担してください。なお、みずほ銀行の本支店から振り込むと手数料がかかりません。
②振り込み後、銀行収納印が押された振込証明書（A票）の原本を本研究科所定の様式（様式６）に貼り、提出してください。

(2) Web による支払い（E－支払いサイト）の場合
・納付方法の詳細は、「人文科学研究科入学考査料払込方法」を参照してください。
・E－支払いサイト（https://e-shiharai.net/）へ事前申込の上、コンビニエンスストア、ペイジー対応の ATM、ネットバンキング、クレジットカード又は銀聯ネット決済により納付してください。（日本国外から支払いの場合は、クレジットカード又は銀聯ネット決済のみ。）
・振込手数料は各自で負担してください。
・支払い後、「入学検定料・選考料　取扱明細書」の「収納証明書」の部分を切り取り、「収納証明書」を本研究科所定の様式（様式６）に貼り、提出してください。

支　払　期　間
2026 年 12 月 15 日（火）～ 2027 年 1 月 8 日（金）

(3) 入学考査料の免除について
①自然災害被災者の方へ
　自然災害被災者に対して入学考査料を免除する場合がありますので、入学考査料の支払い前に、人文社会学部教務係に問い合わせてください。
②本学大学院博士前期課程修了（修了見込みを含む。）の方へ
　本学大学院博士前期課程を 2026 年 9 月に修了した者又は 2027 年 3 月修了見込みの者は、入学考査料を免除します。

(4) 出願受理後の入学考査料は理由を問わず返還しません。
（注）入学考査料を振込んだが出願しなかった場合又は入学考査料を誤って二重に振込んだ場合は、入学考査料の返還申請ができるので、東京都立大学の HP（https://www.tmu.ac.jp/campuslife_career/expenses.html）から返還請求書兼支払金口座振替依頼書をダウンロードし、記入した上で、入学考査料を振り込んだ時の「振込証明書（A 票）」又は「収納証明書」（いずれも原本〔コピー不可〕）を所定箇所に貼付して、次の宛先に郵送してください。
〒 192-0397　東京都八王子市南大沢１－１
東京都公立大学法人　総務部会計管理課資金管理係　入学考査料返還担当
TEL　042-677-1111（代）

8. 選考方法

(1) 選考は、提出された書類の審査及び本研究科が行う学力試験によって行います。
(2) 学力試験は、筆記試験（言語科目、専門分野基礎、論文）及び面接による口述試験によって行います。
(3) 試験の成績によっては、募集人員に満たないときでも入学を許可しないことがあります。

9. 学力試験の期日・場所・試験科目及び日程

(1) 期　日　　2027 年 2 月 16 日（火）
(2) 場　所　　東京都立大学　南大沢キャンパス
(3) 試験科目及び日程　別表 2（20・21 ページ）参照

［注意］

①試験当日は必ず受験票を携帯してください。
②指定された試験科目を 1 科目でも受験しなかった場合、それ以降の科目の受験は認めません。
③試験予備日

試験日の翌日を試験予備日とします。不測の事態により、試験日に予定されていた試験の一部又は全部が実施できない場合、試験予備日に実施することがあります。詳細は人文科学研究科ウェブサイト（https://www.jinsha.tmu.ac.jp）にて周知します。

10. 合格発表

日　　時：2027 年 2 月 26 日（金） 10 時以降
発表方法：人文科学研究科ウェブサイト（https://www.jinsha.tmu.ac.jp）に掲載します。
電話等による合否の問い合わせには応じません。

※「合格者一覧（受験番号のみ記載）」の送付【希望者のみ】

合格発表の結果の郵送を希望される方は、長形 3 号（120 × 235mm）の封筒に、住所・氏名を明記し、切手 620 円分（定形郵便料金 110 円＋速達料金 300 円＋特定記録料金 210 円）を貼付し、出願書類に同封してください。

発送日：2027 年 2 月 26 日（金）

11. 合格通知書等の交付

合格者には、「合格通知書」及び「入学手続案内」を郵送します。
発送日：2027 年 2 月 26 日（金）

12. 入学手続

2027 年 3 月 9 日（火）（入学手続サイトでの手続及び郵送必着）

合格者は「入学手続案内」をよく読み、入学手続を行ってください。これらの手続を怠ると入学は許可されません。

［別表２］試験科目と試験時間（外国人特別学生（留学生））

<table>
<tr><td colspan="2">教室＼試験日</td><td colspan="5">2月16日（火）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">心理学</td><td colspan="2">9：30～11：00</td><td>11：15～12：45</td><td>14：30～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">言語科目
英語</td><td>論文</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">教育学</td><td colspan="3">9：30～12：30</td><td>13：30～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="3">言語科目　以下の言語から１か国語選択
【英語、朝鮮語】</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">言語科学</td><td colspan="3">9：30～12：30</td><td>13：30～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">言語科目Ⅰ
日本語</td><td>言語科目Ⅱ
英語</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">日本語教育学</td><td colspan="2">9：30～11：00</td><td rowspan="2"></td><td>13：30～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">言語科目
日本語</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="4">哲学</td><td rowspan="2">哲学</td><td colspan="3">9：30～12：30</td><td>14：00～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>言語科目Ⅰ　以下の言語から各自の研究テーマに最も関係のある１か国語を選択【英語、ドイツ語、フランス語、ギリシア語、ラテン語】</td><td>言語科目Ⅱ　以下の言語から言語科目Ⅰで選択したもの以外の1か国語選択【英語、ドイツ語、フランス語】</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">西洋
古典学</td><td colspan="3">9：30～12：30</td><td>13：30～16：00</td><td>17：00～</td></tr>
<tr><td colspan="3">２言語科目
以下の言語から２か国語選択
【英語、ドイツ語、フランス語】</td><td>ギリシア語
及び
ラテン語</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">歴史学・考古学
△</td><td colspan="3">9：30～12：30</td><td>14：00～</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">言語科目Ⅰ
英語Ⅰ</td><td colspan="2">言語科目Ⅱ　志願する分野の中から1か国語選択
（英語Ⅱは、英語Ⅰより高度な内容）</td><td rowspan="4">口述試験
（研究に求められる史料読解能力を試す場合がある。）</td></tr>
<tr><td>日本史</td><td>【英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、漢文（中国古典）、漢文（日本古典）】</td></tr>
<tr><td>東洋史</td><td>【英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、漢文（中国古典）】</td></tr>
<tr><td>西洋史</td><td>【英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語、ロシア語】</td></tr>
<tr><td>考古学</td><td>【英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、漢文（中国古典）、漢文（日本古典）】</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教室＼試験日</td><td colspan="4">2月16日（火）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日本文学</td><td rowspan="2"></td><td>11：15～12：45</td><td>13：45～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>言語科目
英語及び中国古典</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">中国文学</td><td>9：30～11：00</td><td>11：15～12：45</td><td>13：45～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>言語科目Ⅰ
以下の言語から1か国語選択
【中国語(古典を含む)、
英語(辞書貸与。試験開始前
に試験教室にて貸与)】</td><td>言語科目Ⅱ
日本語</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">英文学</td><td colspan="2">9：30～12：30</td><td>14：00～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>言語科目Ⅰ
英語Ⅰ</td><td>言語科目Ⅱ　以下の言語から1か国語選択
【英語Ⅱ、ドイツ語、フランス語】</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドイツ文学</td><td colspan="2">9：30～12：30</td><td>13：30～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>言語科目
ドイツ語</td><td>専門知識</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フランス文学</td><td>9：30～11：00</td><td>11：15～12：45</td><td>14：30～</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>フランス語及び言語科目
以下の言語から1か国語選択
【英語、ラテン語、ギリシア語】</td><td>専門知識</td><td>口述試験</td></tr>
</table>

【注意事項】

1　言語科目に関して、【　　】内は選択解答できる言語科目をあらわします。
2　言語科目では、母語（初等・中等教育で使用した言語）を選択することはできません。
3　特に記載のない場合は、辞書持込不可
4　△印の付いている歴史学・考古学教室の言語科目Ⅰについて、英語を母語とするものは英語Ⅰに代えて言語科目Ⅱ（英語Ⅱを含む）の中から1か国語を選択してください。

Ⅲ　入学料及び授業料等について

(1) 入学料　　東京都の住民　141,000 円（予定額）　それ以外の者　282,000 円（予定額）

入学手続書類に同封の案内を確認のうえ、振込んでください。

ただし、本学大学院博士前期課程を 2026 年 9 月に修了した者又は 2027 年 3 月に修了し、引き続き博士後期課程に進学する者は、入学料が免除されます。

なお、「東京都の住民」とは、本人又は配偶者若しくは一親等の親族が、入学の日（2027 年 4 月 1 日）の 1 年前（2026 年 4 月 1 日）から引き続き都内に住所を有する者をいいます。その認定は、本人が都内に在住の場合は住民票記載事項証明書等により行います。

入学手続完了後は、入学料は返還しません。

入学料の改定があった場合には、改定後の入学料が適用されます。

(2) 授業料　　年額：520,800 円（予定額）

入学時又は在学中に授業料の改定があった場合には、改定後の年額が適用されます。

授業料は、前期と後期の指定された期日までに、それぞれ年額の 1 ／ 2 を納めていただくことになります（納付方法は、原則として口座振替となります。）。

また、授業料については、減額又は免除の制度があります。

(3) 奨学金制度

日本学生支援機構などの奨学金制度があります。

また、本学には、博士後期課程に進学した場合に、奨学金を給付する独自の制度があります。希望者は、人文社会学部教務係へ問い合わせてください。

Ⅳ　長期履修制度について

本研究科では、職業を有している、あるいは、出産、育児、介護を行う必要がある、などの理由から、大学院学則が定める標準修業年限（博士前期課程は2年、博士後期課程は3年）内での修業が困難と大学が認める者で具体的な履修計画を持つ者に対し、博士前期課程では3年間又は4年間での、博士後期課程では4年間、5年間又は6年間での学修を認める制度を設けています。

入学時に長期履修を認められた学生は、標準修業年限において支払う授業料の総額を、認められた長期在学期間に分割して支払うことができます。

長期履修期間の延長はできません。短縮は1回限り認めます。なお、長期履修を認められた場合でも、在学年限（博士前期課程は4年、博士後期課程は6年。休学期間は算入しない）を超えて在学することはできません。

〈対象者〉

以下のいずれかの理由により、標準修業年限内での修業が困難な者

(1) 職業を有している者（就労時間が1週あたり32時間以上であることを目安とします。）
(2) 出産、育児、介護を行う必要がある者
(3) その他、研究科において適当と認める者

申請手続案内及び申請書は、人文科学研究科ウェブサイト（https://www.jinsha.tmu.ac.jp）からダウンロードし、申請書は他の出願書類と一緒に提出してください。詳細は必ず申請手続案内で確認してください。

Ⅴ　個人情報の取扱いについて

東京都立大学では、個人情報について以下のとおり法令に基づき取り扱いますので、あらかじめ御了承ください。

(1) 本学への出願の際にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜（出願処理、選抜実施及び合格発表）及び入学手続を行うために使用します。

また、入学者の個人情報は、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料減免、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために使用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成等に使用します。

(3) 前記（1）、（2）の業務において、本学から、一部の業務の委託を受けた業者が、個人情報について、適正な管理のための必要な措置を講じた上で、その全部又は一部を使用することがあります。

Ⅵ　人文科学研究科専攻別教員及び研究分野一覧（予定）

＊＊…2027 年 3 月に定年退職予定の教員
＊…2028 年 3 月に定年退職予定の教員

●社会行動学専攻

社会学

左古　輝人	理論社会学、社会科学の概念史
丹野　清人	国際労働力移動論、労働社会学
中川　　薫＊＊	保健医療社会学
不破麻紀子	ジェンダーの比較社会学、家族社会学
山下　祐介	都市社会学、農村社会学、環境社会学
大井　慈郎	都市社会学、コミュニティ論、人口移動研究
畑山　要介	社会学理論、経済社会学、消費社会論
嶋内　佐絵	教育社会学、比較・国際教育学、カルチュラル・スタディーズ

社会人類学

綾部　真雄	エスニシティ研究（東南アジア大陸部）
石田慎一郎	法人類学（東アフリカ）
河合　洋尚	都市人類学、景観人類学、人類学的民俗学（東アジア）
河野　正治	歓待の人類学、伝統的権威論（ミクロネシア）
田沼　幸子	人類学、移動、映像（キューバとスペイン）
深山　直子	先住民研究、都市人類学（ポリネシア）

社会福祉学

坏　　洋一	福祉理論、社会政策論
阿部　　彩	貧困研究、社会保障論
石島健太郎	障害学、福祉社会学
長沼　葉月	ソーシャルワーク論、精神保健学、家族支援
堀江　孝司	社会政策、福祉国家論
松井　良和	社会保障法、社会福祉法、社会法
室田　信一	地域福祉論、ソーシャルワーク論
和気　純子	高齢者福祉論、ソーシャルワーク論、社会福祉国際比較

●人間科学専攻

心理学

阿部　夏希	臨床心理学
石原　正規	実験心理学
井上　和哉	認知心理学、感情心理学
勝又陽太郎	臨床心理学
酒井　　厚	発達心理学
登藤　直弥	心理統計学
沼崎　　誠＊	社会心理学

教育学

河合　隆平	障害者教育学・教育史、重症児教育
金　　侖貞	社会教育、生涯学習、日韓比較研究
小長井晶子	教育行政学、戦後初期の教育制度
杉田　真衣	ジェンダー・セクシュアリティと教育、青年論
竹原　幸太	教育哲学、教育の修復的正義論、矯正教育
田中　浩司	発達心理学、幼児教育
野元　弘幸＊＊	多文化教育、社会教育学

言語科学

橋本龍一郎	神経画像学、言語脳科学
原田なをみ	理論言語学、比較統語論
保前　文高	認知神経科学、発達脳科学
本間　　猛	理論言語学、音韻理論、英語音韻論、日本語音韻論
矢野　雅貴	心理言語学

日本語教育学

浅川　哲也	日本語学、日本語史
奥野由紀子	日本語教育学、第二言語習得研究
長谷川守寿	日本語教育学、現代日本語文法
ロング・ダニエル	日本語教育学、社会言語学
松田真希子	応用言語学、日本語教育学

●文化基礎論専攻

哲学

木田　直人	近現代フランス哲学
栗原　裕次	西洋古代哲学、倫理学
小池　　登	西洋古典学
増山　浩人	近現代ドイツ哲学
松阪　陽一	言語哲学
吉田俊一郎	西洋古典学

歴史学・考古学

赤羽目匡由	東洋古代史
池田　真歩	日本近代史
出穂　雅実	考古学
大貫　俊夫	西洋中世史
鎌倉　佐保	日本古代・中世史
國　　雄行	日本近代史
髙橋　亮介	西洋古代史
谷口　　央	日本中近世史
福士　由紀	東洋近現代史
前田　弘毅	西アジア史
見瀬　　悠	西洋近世・近代史
源川　真希＊＊	日本現代史
山田　康弘	考古学

表象文化論

赤塚　若樹	映像文化論・比較文学
越智　雄磨	舞台芸術研究・身体論
亀澤美由紀	ジェンダー論、英語圏文学・文化
長門　洋平	映画研究
福田　貴成	聴覚文化論・音楽文化論
古永　真一	現代思想、精神分析、イメージ／テクスト研究

●文化関係論専攻

日本文学

大島　資生＊	日本語学（現代語文法論・意味論）
大杉　重男	日本近代文学
近藤　瑞木	日本近世文学
高桑枝実子	日本古代文学、万葉集

中国文学

荒木　典子	中国語法史・語彙史
飯田　真紀	現代中国語文法・方言学（広東語文法）
大久保明男	中国近現代文学
佐々木　睦	中国古典文学・幻想文学・図像学
佐藤　　賢	中国近現代文学・映画研究

英文学

生駒　久美	19 世紀アメリカ文学・文化
越　　明彦	17 世紀英文学、現代イギリス小説、紅茶文化史
髙岸　冬詩	現代詩研究、英語圏文学・文化
中村　英男＊	19 世紀イギリス小説
安井マイケル	日米比較文学、14 世紀イギリス文学、20 世紀アメリカ文学
吉田　朋正	批評史、アメリカ文学・思潮

ドイツ文学

小野寺賢一	ドイツ・ロマン派および観念論の詩学、ドイツ抒情詩の歴史と理論
金　　志成	20 世紀以降のドイツ語圏文学、文芸翻訳
シュレンドルフ・レオポルト	現代ドイツ語圏文学、戦争と文学、ジャンル論・詩学
福岡　麻子	オーストリア現代文学、震災（後）文学、フェミニズム文学論

フランス文学

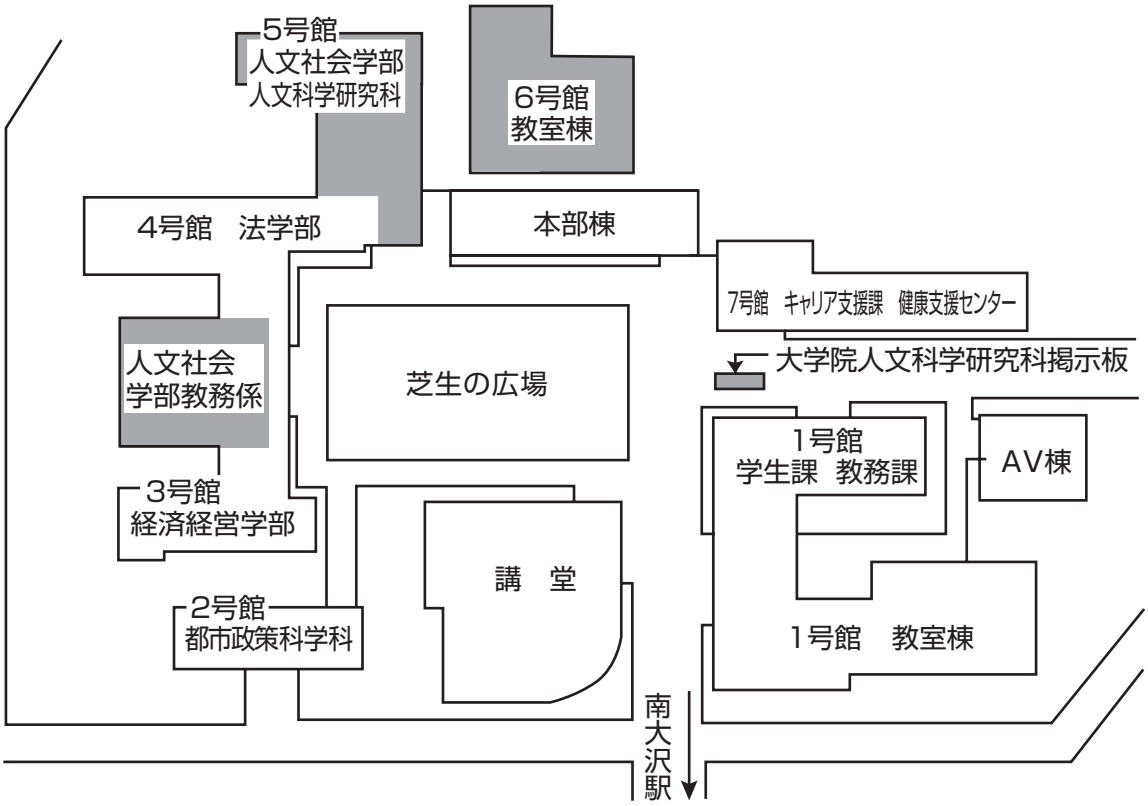
グロワザール・ジョスラン	西洋古典学、古代哲学史
大須賀沙織	19 世紀フランス文学
清水さやか	20 世紀フランス文学
西山　雄二	20 世紀フランス現代思想

2027 年度
東京都立大学大学院
人文科学研究科博士後期課程
学生募集要項

2026 年 7 月 1 日発行
発行　東京都立大学大学院人文科学研究科
東京都立大学管理部文系学務課人文社会学部教務係
〒 192-0397 東京都八王子市南大沢一丁目 1 番地
（指定郵便番号）
電話 042-677-1111（代）内線 1121

株式会社相模プリント

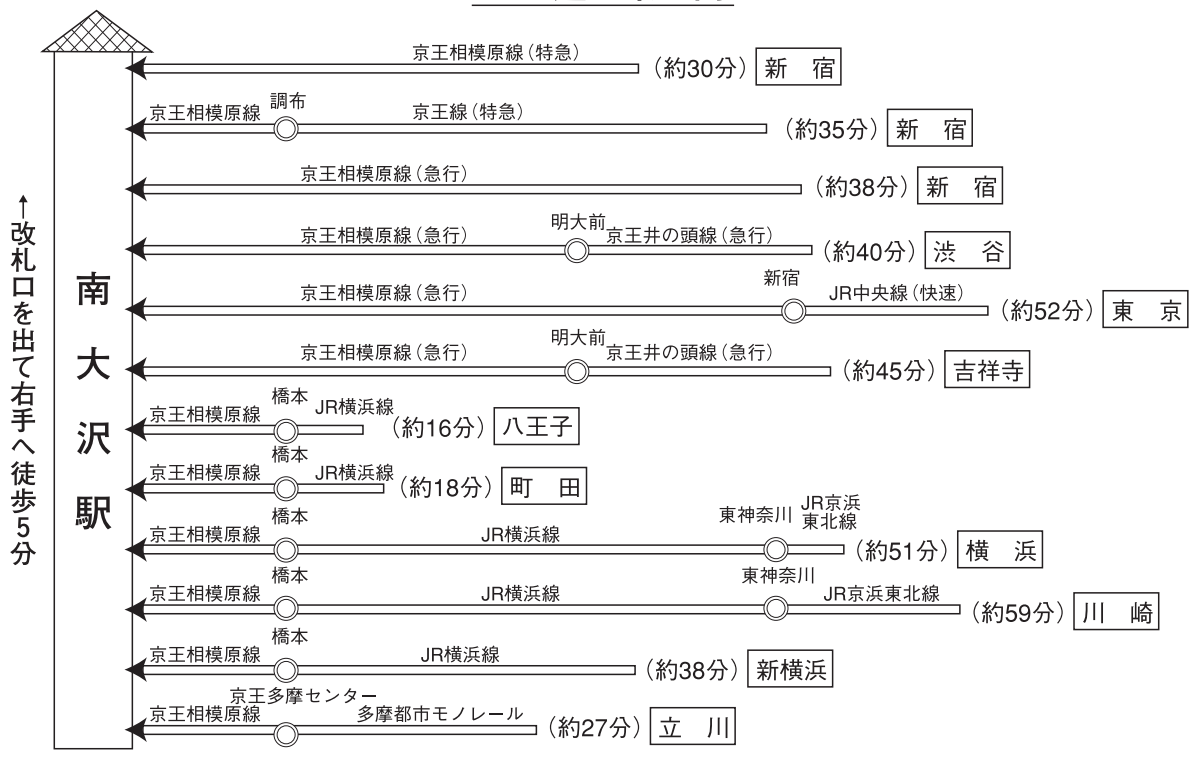
学内配置図（部分）



（京王相模原線　南大沢駅下車徒歩約5分）

※自動車、バイクでの来場はご遠慮ください。

交　通　案　内



主要駅から南大沢駅までの所要時間（時間は最短の場合です）